

## こんな人は「帯状疱疹後神経痛」につながりやすい

### ◆帯状疱疹後神経痛につながりやすい7つの危険因子

- ① 50歳以上。
- ② 女性である。
- ③ タバコを吸っている。
- ④ はっきりした激しい前駆痛（皮膚の痛み）がある。
- ⑤ 皮膚症状が重い（水ぶくれが大量にでき、広範囲に及んでいる。血の色をした水ぶくれがある）。
- ⑥ 刺激に対して敏感になる。あるいは鈍感になる。
- ⑦ 免疫力が大幅に低下する持病がある。

### ◆危険因子により多く該当する人は要注意

帯状疱疹を発症した人のうち、右の7つの因子により多く当てはまる人は、帯状疱疹後神経痛につながりやすいので、帯状疱疹の治療をしっかり行ないましょう。

- ① については24ページをご参照ください。
- ②の「女性」というのは、女性だけが危険ということではなく、男性よりも女性に多いことを示しています。ですから、男性であっても帯状疱疹後神経痛を発症することはあります。

④から⑥は、ウイルスによる神経障害が進んでいる可能性を示唆しています。

⑦の免疫力を大幅に低下させる持病としては、悪性腫瘍（がん）、糖尿病、膠原病などが挙げられます。帯状疱疹を発症したことで、これらの病気が見つかることもありえます。免疫力が低下すると、帯状疱疹に限らず、さまざまな病気が起こりやすくなるということです（29ページ参照）。